

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

【課題】

- ・保育・教育・福祉・医療等関係機関と家庭間の連絡・調整
- ・就労機関や事業所等とのネットワーク構築
- ・就学や障害に関する教育相談、適切な就学に向けた情報収集、提供、就学後のフォロー
- ・個別支援計画・個別の教育支援計画の活用に係るフォローアップ

【目的】

- ・特別な支援を必要とする子どもとその保護者のための支援体制の構築及び連携の強化



成果

- ・専門職員の配置により「教育相談」の充実が図られ、知多市の子どもたち及びその保護者にとって適切な就学支援が可能になった。
- ・専門職員が関係機関を巡回することで円滑な情報の共有や引継ぎが行われるようになった。

事業内容

「個別の教育支援計画」の活用

・出生から18歳までの記録を綴る成長ファイルに学校と保護者で作成した子どもの支援計画（個別の教育支援、個別の指導計画）を保管する。作成に関しては関係者（保育・教育、保健、福祉、医療等の関係機関等）と、保護者が共に支援計画を作成し、専門的なアドバイスも記録できるようにしている。また、本人・保護者の同意を事前に得ておき、成長ファイルの情報を関係機関で共有し継続的な支援を行えるようにした。

普及啓発活動

・教育委員会が特別支援教育に関わる資料「就学相談ガイドブック」を作成し、関係機関へ配付した。また市HPにも掲載した。

特別支援教育指導員の巡回指導

・専門的な知見を持つ指導員が各学校を回り、通常の学級で支援を必要とする児童生徒や特別支援学級の児童生徒に対する支援体制や指導法について助言や、就学に関する助言、情報共有を行った。

